

## 議題②地域資源の活用



「おでかけむーま号」

### ▶地域資源の活用例

- ①福祉園バス・介護施設車両の活用
- ②スクールバスの活用
- ③自家用車でのお出掛けに住民が同乗する仕組み

▶朝霞市:住民も参加して交通手段を計画・導入した自治体の事例紹介  
→「わくわくワゴン」

▶飯能市:各種の地域資源を活用して公共交通を運行している自治体の事例紹介  
→「おでかけむーま号」・「奥武蔵らくらく交通」・「医療法人・社会福祉法人の移送サービス」・「スクールバス混乗」

### 議題②に対する委員の意見

- ・デイサービスなどの送迎時間の合間で地域内の移動で利用したい。
- ・この地域の医療法人や社会福祉法人から協力を得られるかもしれない。
- ・住民からドライバーを募集しても、仕事がある方は日中は運転できず、高齢者は時間があっても免許を返納したら運転できない。
- ・透析を受けている方を自家用車で運ぶボランティアがいるみたい。
- ・桜川地域センターへの送迎車両としても活用したい。

### 東京都シルバーバスの「利用者負担の軽減」お知らせ

これまで20,510円でしたが、今年10月より12,000円で購入できます！  
住民税が「非課税」の方は、引き続き1,000円でご利用いただけます。



## 一人ひとりの利用が、バス路線の維持につながります

現在、バス業界では、運転手不足などにより、減便や運行休止・廃止になる路線があるなど、以前のようなサービスを維持し続けることが困難な状況です。

東新町・小茂根地域は、「池55系統」も減便されており、平日は日中(10時～16時)の便がほぼなくなりました。

これ以上の減便を避ける一つの方法として、**皆さんがバスを利用する機会を増やしていただくことが重要です。**

例えば、通勤・通学のほか、通院や池袋での買い物の際に利用するなど、外出での利用を心がけることが、バスの運行を支えます。



お声をお聞かせ下さい

板橋区では、皆さんと共に地域の公共交通について考えるため、スマートフォンで答えるアンケートを実施しています。左の二次元コードから回答をお願いします。



### 連絡先

板橋区 都市整備部 都市計画課 交通企画都市基盤係  
TEL:03-3579-2548 FAX:03-3579-5436  
Mail:t-koutsu@city.itabashi.tokyo.jp



区ホームページ

意見交換会の開催内容は、区ホームページに掲載しています。

【令和7年11月作成】

## 東新町・小茂根地域

### 地域交通検討会 かわら版 第2号

## 東新町・小茂根地域での交通や移動について 検討委員の皆さんと交通検討会を実施しました！



### 検討会対象地域



5月に引き続き10月20日に桜川地域センターにて、地域の公共交通の課題について皆さんと共に考え、今後の利活用方法を検討し、実情に合わせた公共交通の補完についてグループ討議を行いました。

### ●令和7年度開催の交通検討会

	開催日時	議題
第1回	令和7年 5月29日（木）19時～	国際興業バス『池55系統』（小茂根五丁目～池袋駅東口）バス減便後の実態と「ちょっと不便」の乗りこなし術 ・地域の交通の現状 ・路線バスの空白時間や空白地域をどう補うか ・この地域らしい「元気な移動」を考える ・班ごとの意見交換（フリーディスカッション）
第2回	令和7年 10月20日（月）19時～	バスと新たな乗物の共存を考える ・新たな乗物の走行について ・地域資源の活用について ・意見交換（フリーディスカッション）
第3回	令和8年 2月18日（水）19時～	バスと新たな乗物の共存を考える（案） ・新たな乗物の走行について（運行計画の検討、課題整理） ・地域資源の活用について（事例紹介） ・意見交換（フリーディスカッション）

※ご希望があれば傍聴も可能です。事前に板橋区担当部署までお伝えください。

### 議題①新たな乗物の走行について

路線バスの減便等による交通手段の不足が地域の課題となることから、今回の検討会では、下記の条件で委員の方々に検討していただきました。

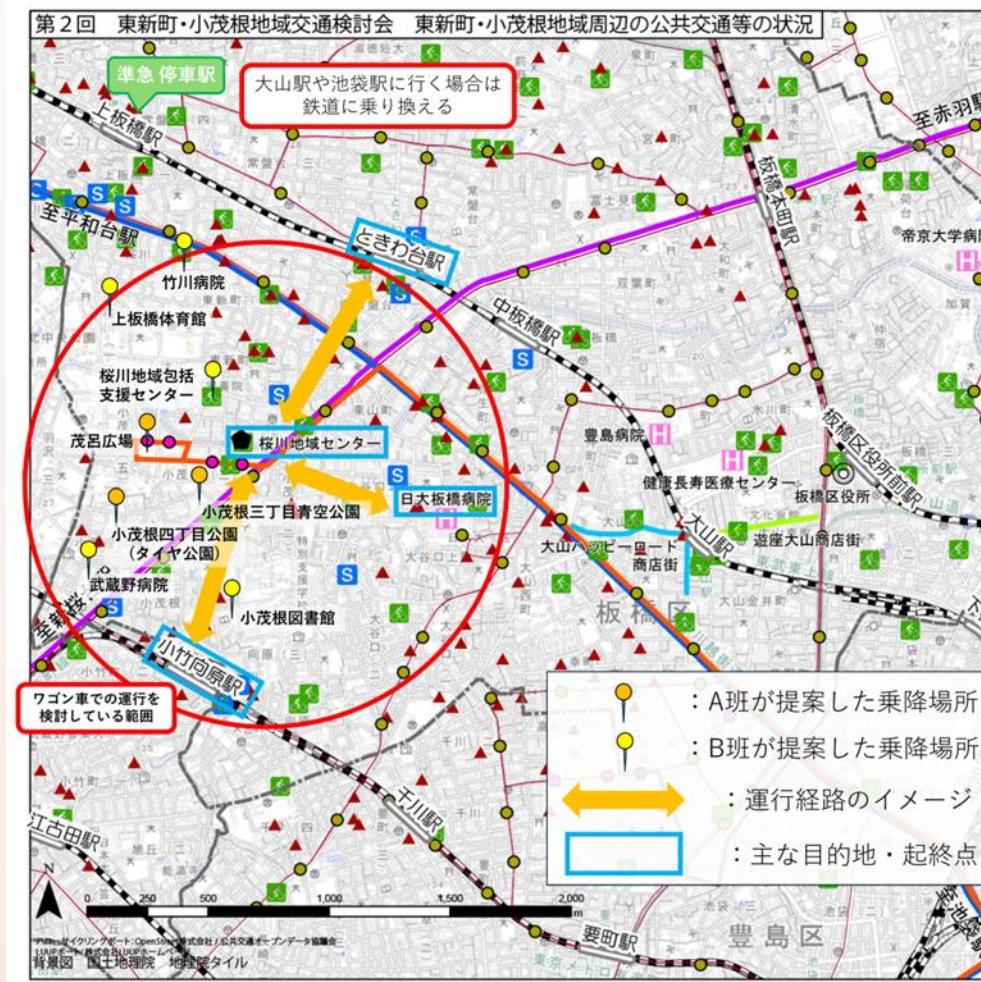
- ▶道路の幅員や運転免許の制約からワゴン車の導入を想定。
- ▶路線バス空白時間を補完する時間帯や走行ルートを考える。
- ▶桜川地域センターを起点としたルート案を考える。

- 【前提条件】**
- 車両サイズ:ワゴン車
  - 路線バスとの競合は避ける
  - 出発地:桜川地域センター



### 議題①に対するA班の委員の意見

- 目的地・終点  
日大病院・小竹向原駅・ときわ台駅・上板橋駅
- 経路  
・小茂根四丁目公園・小茂根三丁目青空公園・茂呂広場で乗り降りができる、桜川地域センターを経由してほしい。  
・1回につき、30分以内で運行するルートで走らせたい。
- 運行頻度  
1時間に1便の運行
- 時間帯  
平日の路線バス空白時間帯(10時~16時)
- その他  
・往復の運行または、巡回して時間ごとに行先を変更して運行するルートも検討する。  
・池袋や板橋区役所までは電車や路線バスに乗り換えて行っている。  
・桜川二丁目が桜川地域センターから遠い。  
・桜川地域センターでイベントを開催しても、離れた場所の高齢者が来れない。  
・支え合い会議で桜川地域センターに行くのが大変。  
・手を挙げた住民が、路線バスのドライバーになるために必要な講習の期間や費用、サポートなどについて知りたい。  
・「タクシーGO」が便利



### 議題①に対するB班の委員の意見

- 目的地・終点  
ときわ台駅(東新町の住民)・上板橋駅(桜川の住民)・小竹向原駅(小茂根の住民)
- 経路  
小竹向原駅~ときわ台駅か上板橋駅を結ぶ
- 乗降場所  
桜川地域センター・桜川地域包括支援センター・武蔵野病院・日大病院・小茂根図書館・上板橋体育館
- 運行頻度  
午前・午後それぞれ1~2本運行して、一運行あたり30分程度。ポイントを絞りたい。
- 時間帯  
平日の路線バス空白時間帯(10時~16時)
- その他  
・月曜日に病院へ行くことが多い。  
・デマンドタイプの区域運行  
・明るい時間帯で運行  
・東山町は道が狭く、車両を止める場所がない。  
・運行を検討している範囲には坂道が多い。  
・上板橋駅に準急が停車するようになって、池袋駅までの乗車時間が短くなった。  
・健康長寿医療センター・豊島病院や帝京大病院までは路線バスや電車に乗り換えて行っている。

